

韓統連大阪通信紙

自主

チャジュ

337号

2019年3月号

자주

発行 在日韓国民主統一連合  
(韓統連) 大阪本部

〒544-0034

大阪市生野区桃谷3-13-6

TEL06-6711-6377 FAX06-6711-6378

毎月1日発行 購読料 年間3000円

郵便振替 00940-7-314392

民族時報社 大阪支社

## 第2回朝米首脳会談の行方

2月5日、トランプ大統領は上下両院議員を前に行った一般教書演説で2月27日～28日、ベトナムで2回目の朝米首脳会談を開くと明らかにしました。その後、会談場所がハノイであることが明らかになり、何事もなければ予定通り2回目の朝米首脳会談が開催されます。今回の首脳会談の意義と行方について述べてみたいと思います。

なぜベトナムのハノイなのかについては、いろいろな解説がありますが、朝米共に大使館を置いていることが一番の理由です。ベトナムは朝鮮にとって決して居心地の良いところではありません。ベトナム戦争当時、朝鮮は空軍兵士を中心に援軍を送り、ベトナムには朝鮮の戦死者の陵があります。しかし終戦後、ベトナムは米国と1995年に国交を回復して朝鮮制裁に加わりません。中国と国境紛争を抱

え、南沙諸島の領有権を争っていたベトナムの一つの選択でした。そんなわけでベトナムは朝鮮にとって地の利があるとはいえません。ただ金日成主席とホー・チ・ミン主席の旧交を記憶するベトナム指導者は、未だ健在だとも言われています。

2回目の朝米首脳会談の用意を整えるため、ビーガン朝鮮担当特別代表がピョンヤンで朝鮮側の金赫哲(キム・ヒョクチョル)特別代表と3日間の協議を行い、首脳会談までに両代表が再度協議を行う方針が明らかになりました。実務会談後、ビーガン代表はトランプ大統領に報告した後、康京和(カン・ギョンファ)外交部長官に会談内容を伝えたものと思われる。最近のニュースでは、ハノイで再度実務協議を行うと伝えています。CNNによるとビーガン代表は1月31日、スタンフォード大学で講演し「米国が朝鮮を侵略することはない」と述べ、また朝鮮戦争の正式な終結に向けた米国の意欲を強く示唆したとみられる発言もありました。

「トランプ大統領には、この戦争を終わらせる用意がある」と言及。「朝鮮を侵略したり、政権転覆を試みたりすることはない」と強調しました。そのうえで「私も大統領も、70年にわたる朝鮮半島の戦争と敵対状態を過去のものにする時がきたと確信している。この紛争をこれ以上長引かせた理由はない」と述べたと報じています。

サンフランシスコ講和条約が冷戦の始まりとすれば、朝鮮戦争終結宣言はアジアで冷戦が完全に終わったことを意味します。したがって東アジア

(南・北・米・中・露・日)の新たな平和体制の構築が急がれています。その始まりが今回の首脳会談です。朝鮮半島の非核化は朝米の約束ですが、関係国約20億の人民の平和と繁栄につながる重要な会談です。トランプ大統領は「急がない」と再三言及してい

るので信頼関係の構築には、今しばらく時間がかかることでしょう。

朝米関係の行方は南北問題にも重要な問題です。文在寅大統領は朝鮮が求めている「相応措置について協力する用意がある」と、トランプ大統領との電話会談で伝えた事が明らかになりました。金剛山観光の再開が有力で可能性が高いと言われています。

一方、駐韓米軍の撤退を朝鮮側が要求するのではないかとの観測が流れていますが、私はその可能性は低いと見ています。駐韓米軍問題は韓米相互防衛条約に基づくもので、韓国が決めるべき問題との認識が南北首脳間で合意されており、相互尊重の精神が南北間の基本認識だと思っています。今回の首脳会談で朝米間に代表者の相互派遣が検討されているとも伝えられる中、対話基調が定着するのを実感することになるでしょう。

(鐵)



▲第1回朝米首脳会談で握手を交わす両首脳

## 朝鮮半島情勢の大転換を活かし、 韓日連帯運動をより強化しよう！

### 連帯の夕べ

2019年、韓日民衆連帯運動で朝鮮半島の平和・繁栄をより前進させていくため、韓統連大阪本部主催で「連帯の夕べ」が2月3日(日)、KCC会館(大阪市生野区)で開催され、会員、民族団体代表、日本の労働組合及び市民団体代表などが参加した。

夕べでは、金隆司(キム・ユンソ)韓統連大阪本部代表委員が主催者挨拶を通じ「昨年は3度にわたる南北首脳会談と初の朝米首脳会談が開催され、朝鮮半島の冷戦の壁が崩れた年でした」と述べながら、「今年は昨年以上に朝鮮半島情勢はダイナミックに進むでしょう。今日の夕べが、今年の韓日連帯運動の出発点として有意義な一時にしていきたい」と語った。



▲連帯の夕べには多くの同胞・日本人が参加した

続いて、日韓平和連帯顧問の永久睦子さん、在日韓国良心囚同友会代表の李哲さんから連帯挨拶が行われた後、李鐵(イ・チョル)韓統連大阪本部常任顧問が乾杯挨拶を行った。

その後、各テーブルでは食事を交えながら、参加者間の親睦と交流が深められる中、映像資料「2018年情勢と韓統連大阪本部の主な活動を振り返る」が上映されるとともに、各団体代表からのスピーチを受け、韓日連帯運動をより強化して朝鮮半島の平和統一、東アジアの平和を実現させる決意が語られた。

また夕べでは、金昌範(キム・チャンボム)韓統連生野支部代表委員による文化発表と金隆司代表委員から、3・1独立運動100周年韓統連母国訪問団の紹介が行われ、最後に、金昌五(キム・チャンオ)韓統連大阪本部副代表が閉会挨拶を行い、連帯の夕べは終了した。

## 3・1独立運動100周年事業と 韓統連母国訪問事業を成功させよう！

### 韓統連関西地協活動者会議

3・1独立運動100周年南北共同行事と韓統連母国訪問団を目前に控え、韓統連中央本部主催で「3・1独立運動100周年事業を成功させよう！2019年韓統連関西地協活動者会議」が2月17日(日)、学働館(大阪市西区)で開かれた。

活動者会議では最初に、金隆司 韓統連大阪本部代表委員が開会挨拶を行い「今日の活動者会議で全体認識を共有し、国内で進められている3・1運動100周年事業、そして韓統連母国訪問団を意義あるものにしていこう」と語った。

次に映像資料が上映された後、宋世一(ソン・セイル)韓統連中央本部副議長から、第2回朝米首脳会談に向けた情勢、3・1独立運動の経緯と歴史的意義、韓統連母国訪問団などに関する報告を受けた。

宋副議長は「3・1独立運動は自主独立を求めて民衆が闘った。私たちはその精神を継承しながら自主統一を実現しよう」と語った。

そして韓統連母国訪問団について「国内の多くの進歩団体・人士が私たちを迎えてくれる。15年ぶりの母国訪問事業を必ず成功させよう」と訴えた。

報告終了後は、活発な質疑応答と趙暎和(チョ・ヨンファ)韓青大阪府本部委員長、孫啓榮(ソン・ゲヨン)本部常任委員が決意表明を行い、最後に崔孝行(チェ・ヒョハン)韓統連兵庫本部代表委員が閉会挨拶を行い、活動者会議は終了した。

## 政府だけに外交を任せるのではなく、 可能な分野から交流を広げることが重要

### 日朝市民連帯・大阪第5回総会

韓統連大阪本部が加盟している日朝国交正常化の早期実現を求める市民連帯・大阪(日朝市民連帯・大阪)第5回総会が2月21日(木)、エルおおさか(大阪市中心部)で開かれた、

総会では初めに、日朝市民連帯・大阪共同代表の大野進さんが開会挨拶を通じ「2月27日から第2回朝米首脳会談では大きな進展が期待できる。このような情勢を活かして、日朝国交正常化の実現を安倍政権に突きつけていこう」と語った。



次に昨年の活動報告、会計報告、2019年度活動方針案が一括して提案され、確認された後、「南北関係・朝米関係を見る視点」をテーマに、大谷大学文学部助教の森類臣（もり・ともおみ）さん記念講演を行った。



#### ▲朝米・日朝関係などについて講演を行う森類臣さん

森さんは最初に、昨年の南北首脳会談で発表された板門店宣言について「過去の南北間合意と対話過程を踏まえた総合的・包括的な合意」と述べるとともに「その後の朝米シンガポール共同声明の基礎になっている」と指摘した。

続いて、第1回朝米首脳会談に関して「韓米両首脳が会談して、共同声明を発表したことに重みがあり、米国が当事者として朝鮮戦争の終結などに直接乗り出している。信頼構築プロセスの第一歩だ」評価した。

そして、現在の日朝関係について「安倍政権は拉致問題の解決なくして国交正常化はないという原則に固執している。しかし朝鮮半島情勢は好転している。この状況を活かして政府だけに外交を任せるのではなく、市民外交の発想で可能な分野からの交流を広げていくことが重要」と語った。

講演終了後は活発な質疑応答と全日建連帯労組近畿地方本部執行委員長の垣沼陽輔さんから連帯アピールが行われ、最後に日朝市民連帯・大阪共同代表の長崎由美子さんが閉会挨拶を行い、第5回総会は終了した。

## 今、朝鮮半島の恒久的平和体制と 統一の道が開かれている

### 3・1独立運動100周年2・23大阪集会

3・1独立運動100周年を迎え「3・1独立運動100周年・朝鮮戦争の終結と東アジアの恒久平和の実現を目指す2・23大阪集会（主催：

同実行委員会）」は2月23日（土）、エルおおさか南館ホールで開かれ、多くの在日同胞、日本人が参加した。

集会では、日韓平和連帯共同代表の山元一英さんの主催者挨拶とビデオ「ドキュメンタリー3・1独立運動」が上映された後、韓国から招いたコリア・インターナショナル・ピースフォーラム共同代表の柳昶完（リュウ・ギョソク）さんが講演を行った。

柳さんは初めに「3・1独立運動から100年を迎えた今、朝鮮半島の戦争の危機が除去され、自主統一の道が開けている」と語った。特に2月末に開かれる第2回朝米首脳会談で「昨年の朝米シンガポール共同声明をより前進させた▲朝米関係の正常化▲朝鮮半島の平和体制▲朝鮮半島の完全な非核化について具体的合意がなされるだろう」と指摘するとともに、その後に展望される金正恩（キム・ジョンウン）国務委員長のソウル訪問と南北首脳会談によって分断の壁を崩すことになるだろう」と語った。



#### ▲講演する柳昶完さん

そして最後に「安倍政権は3・1独立運動100周年を契機に、“慰安婦”問題をはじめ過去清算をしっかりと行い、朝鮮半島の平和統一を支持しなければならぬ」と訴えた。

講演終了後には質疑応答と▲日本軍「慰安婦」問題について▲朝鮮学校問題について▲徴用工問題についてのリレートーク、集会決議案の朗読・採択が行われ、最後に大阪全労協事務局長の竹林隆さんが集会まとめを行い、大阪集会は終了した。

## 〈次代を担う若者たち〉 — 韓青大阪本部 活動紹介 —

アンニョンハシムニカ。韓青大阪本部の趙映和(チョ・ヨンファ)です。

今回は、去る2月9日から11日の2泊3日にかけて行われた冬期講習会のご報告です。

今回の講習会の舞台は京都でした。冬の京都といえば、かなり寒いイメージしかないんですが・・・やはり予想通り寒かったです(笑)。

今回の冬期講習会の目玉は何といても約10年ぶりの国内青年との交流。昨年8月にソウルで行われた夏期講習会で出会ったチョン・ジョンソン韓国青年連帯代表をはじめとする国内の同志たちが、今回は日本の京都で私たちと合流し、ほぼ全日程を共にすることができました。



▲冬期講習会参加者全員での記念写真

1日目の夜に行われた班別企画で「民族的に生きる」をテーマにしたグループワークにも参加して頂きましたが、国内から参加されたシン・エルラ京畿青年連帯議長は「大韓民国で暮らす私たちにとってとても、自然で特に立ち止まって考えることもなかった私が、このようなグループワークに参加すること自体とても恥ずかしかった。異国の地で自らの民族性を守ろうと必死に取り組んでいる同胞青年の姿は本当に感動的だった」との感想を仰っていました。

2日目は韓青に来て間もない青年たちに、韓青の取り組みを知ってもらおうと歴史学習会、ウリマル(母国語)教室、律動体験といった企画が行われ、参加者一人一人の一生懸命な姿がとても印

象的でした。

メイン企画の「パーティー&文化マダン」は在日大韓基督教団京都教会が場所を提供して下さり、新たに合流した国内青年による歌と律動で大いに盛り上がりました。私たち韓青もサムルノリ、ソルチャンゴ、律動などを発表し、会場は一体となってハンマダンを繰り広げました。

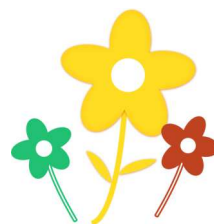


▲韓国から参加した青年たちによる歌と律動

教会では飲酒禁止だったのでお酒は宿舎に戻り、わが民族の明るい未来について語り合いながら夜通し飲み明かしました。

最終日には、キム・ソンギョン民衆党共同代表による貴重な講演があり、民衆党の主な政策、文在寅政権に対する評価、在日同胞政策など真摯な意見交換も行われました。

今回、私たちの冬期講習会のために物心両面に渡ってご支援を頂いた、韓統連大阪本部をはじめ先輩方の皆さまに心より感謝申し上げ、今後ともより一層の運動の前進のためにまい進していくことを誓いながら、私からの報告とさせていただきます。





## チンチャ・コリア（本当の韓国）ツアーに同行して

金昌五（キム・チャンオ）

国際女性年大阪連絡会が、昨年11月に45周年記念事業として「キャンドル革命の地を訪ねてーチンチャ・コリア（本当の韓国）を知るツアー」を行いました。とても意義深く感動的な2泊3日の旅の記録が2月23日に発刊されました。ここでは、報告集に記載された金昌五副代表の原稿を転載させて頂きました。

今回のツアーは、その企画段階からツアーの全行程まで孫美姫（ソン・ミヒ）さんに随分とお世話になった。彼女との最初の出会いは、私が韓青（在日韓国青年同盟）中央本部の委員長だった1994年のことだ。韓国の青年団体代表団を日本に招待して、在日韓国人青年との交流事業を行った。その時の代表団の一人が、当時、釜山民主青年会の会長をしていた孫美姫さんだった。私にとって最も古くからの韓国の友人だ。彼女はいまだに私のことを「チャンオ・イオンジャン（昌五委員長）」と呼ぶ。ちなみに、その後、彼女と結婚することになる韓忠穆（ハン・チュンモク）さんは当時、韓国青年運動のリーダーで、何回目かの獄中生活を送っていた。初日の講演の講師を担当してくれたのがこのお二人だ。



▲企画からツアー一期間中、お世話になった孫美姫さん

南営洞対共分室を案内してくれた金学奎（キム・ハクキョ）さんとは、今回初めて出会った。ち密に計算されつくした拷問調査のための建物の構造と、そこで行われた拷問の実態を克明に解説してくれた。1987年に、まさにその場所で水拷問によって亡くなった朴鐘哲（パク・ジョンソル）君とソウル大学の同期生だったという。淡々と、時にはユーモアも交えて語ってくれた姿がとても印象的だったが、彼が学友の死を涙なしに語れるようになるまでに何年の歳月を要したのだろう。

仁川空港の出迎えに始まり、ツアーのほぼすべてに同行してくれた柳旻完（リュウ・ミンワン）さんとも旧知の間柄だが、彼は朴鐘哲君のソウル大学の一年先輩だ。彼もそこで実際に拷問を受けた経験があるという。特殊な拷問器具を設置した、広さが2倍の調査室（という名の拷問室）が二部屋あるとの説明を受けたが、彼は「僕たちはその部屋のことをVIPルームと呼んでいました」と笑顔で話していた。彼は恐ろしい拷問をどんな思いで耐え抜いたのだろう。体の傷は癒えたのだろうか。

心の中の深い傷が消える日は来るのだろうか。

チンチャ・コリアツアーの目的は、学校では教えて来られなかった過去の歴史と、新聞やテレビでは伝えてくれない韓国民衆の闘いを、その現場で生き生きと学ぶことだ。そこには、その歴史を背負い、その現実を生きている人々との出会いがある。彼、彼女らとの出会いを通して、本当の韓国を知るのだ。どこかで見た何かよりも、どこかで食べたどんな美味しい料理よりも、そこでともにすごした人々との出会いが最も印象深いのはそのためだ。

チンチャ・コリアツアーのもう一つの目的は、韓国の友人たちに日本の友人との出会いの機会を与えることだ。韓国の学校では教えてこられなかった日本、韓国の新聞・テレビでは伝えてくれない日本。過去の歴史と真摯に向き合い、人権と民主主義と平和のために懸命に生きる日本の友人たちとの出会い。彼、彼女らにとっても「チンチャ・ジャパン（本当の日本）」を知るかけがえのない機会なのだ。お互いが求め合った出会いだからこそ、初めて会ったばかりなのに、あんなにも短い時間であんなにも仲良くなれたのだ。

チンチャ・コリアツアーを終える度に、暗黒の時代に労働者の解放をうたい続けた朴勞解（パク・ハ）の詩「再び」を思い出す。

「希望に満ちた人は、その人自身が希望だ。道を求める人は、その人自身が新しい道だ。とても良い人は、その人自身がすでに良い世の中だ。すべては人の中にある。すべては人から始まる。再び、人こそが希望だ」

忘れがたい旅だった。チンチャ・コリアツアーで出会ったすべての人々に、心から感謝の気持ちを込めて、「かけがえのない素敵な出会いをありがとう！」

## ◆◆映画紹介◆◆

## アイキャンスピーク どうしても言いたいことがある

2017年の秋に公開されたこの映画。重いテーマでありながら、明るいコメディタッチで一人の日本軍「慰安婦」ハルモニ（お婆さん）の人物像を描いた今作は、韓国内で328万人の観客を動員した話題作となった。

区役所の職員たちから「妖怪婆さん（トッケビ・ハルメ）」と恐れられるナ・オクプン。社会の不正を見ごせない彼女は、町内を見回っては毎日のように区役所に苦情を申し立てに来る。今までの請願が8千件をこえるモンスター・クレイマーだ。

そんな彼女に対応することになったのが、新たに区役所に赴任してきた公務員パク・ミンジェ。原則を徹底して守る彼は、オクプンに形式通りに請願書を書かせ、窓口の順番を守らせ、真正面から彼女に立ち向かっていく。

奇妙な信頼関係を築きつつあった二人だったが、ふとした偶然からミンジェが英語に堪能であることを知ったオクプンは、「ぜひとも英語を教えてほしい」とミンジェに頼みこんできた。それはアメリカに養子にいった弟と電話で話したいという理由だったが、オクプンの熱心な英語の勉強は、やがて彼女の誰にも言えなかった過去へと絡まっ

ていく。

映画の終盤、オクプンはアメリカ議会の決議を得るために「慰安婦」聴聞会の演壇に立つ。日本軍「慰安婦」だった自らの思いの丈を込めた韓国語による告白、そして日本軍による非人道的な犯罪行為を世界に対して訴える英語の演説を、アメリカの議員たちの前で堂々と述べる。

この話は2007年の米下院121号決議が基になっている。日本政府に対し日本軍「慰安婦」被害者への公式謝罪と歴史的責任を求めた決議だ。この審議において行われたイ・ヨンスハルモニの証言が、オクプンの演説のモデルになった。

タイトルの「アイ・キャン・スピーク」の言葉は、決して語学力のことだけ

を言っているわけではない。自らの主張を伝える勇気があってこそ、言葉は発せられるという二重の意味となっている。映画を通して見る「慰安婦」被害者のオクプンハルモニは、決して「かわいそうな弱者」ではなく、胸に辛い過去を抱えながらも勇気をもって明るく生きるたくましいお婆さんだ。この映画は「慰安婦」問題をより身近に理解する一助になるだろう。（好）



## ◆行事案内◆

### 第2回朝米首脳会談とソウル南北首脳会談を支持する集会

日時：3月31日（日）午後1時30分 受付／午後2時 開会

場所：国労会館（JR環状線“天満”駅下車徒歩5分）

内容：情勢講演「第2回朝米首脳会談の意義と今後の展望」

講師：金昌五(キム・チャソ)韓統連大阪本部副代表委員

3・1独立運動100周年韓統連母国訪問団報告

参加費：800円

主催：韓統連大阪本部 TEL06-6711-6377

### 編集後記

次号は第2回朝米首脳会談の結果、3・1独立運動100周年事業と韓統連母国訪問団の報告を中心に掲載します。お楽しみに。  
(ソン)

